

議事概要		司会進行		記録者	
		牛久市 経営企画部 政策企画課長 淀川		牛久市 経営企画部 政策企画課 主任 本谷	
1. 会 議 名		令和6年度 第1回牛久市まち・ひと・しごと創生推進会議			
2. 開催日時		令和6年8月5日（月） 13時00分～15時00分		開催場所	牛久市役所 分庁舎2階 第2会議室
3. 委 員 （敬称略）		出席者 （◎：会長）	氏名	所属・職名	
			大橋 澄子 橋本 庄司 岡本 直久 岡部 和幸 磯前 賢次 杉山 朋久 沖山 真智子 ◎鷹羽 伸一	岡田地区区長会 会長 奥野地区区長会 会長 筑波大学システム情報系 教授 筑波銀行牛久支店 支店長 常陽銀行牛久支店 支店長 龍ヶ崎公共職業安定所 所長 NPO 法人 牛久コミュニティ放送 部長 牛久市 副市長	
4. 議題及び会議の公開又は非公開の別		公開		傍聴人の数	0人
5. 事務局		牛久市 経営企画部 政策企画課			
6. 次 第		1. 開会 2. 委員委嘱 3. 会長挨拶 4. 会長代理指名 5. 策定スケジュール 6. 協議事項 （1）総合計画・総合戦略の策定方針と基本構想の概要 （2）基礎的調査報告 ①本市を取り巻く状況（社会潮流と牛久市の現況） ②市民満足度調査 ③達成状況調査（総合戦略） （3）牛久市人口ビジョンの検証 7. 閉会			
7. 議事内容		別紙参照			

別紙 議事内容

議事（1）総合計画・総合戦略の策定方針と基本構想の概要

発言者	内容
事務局	資料に基づき、総合計画・総合戦略の策定方針と基本構想の概要について説明。
会長	総合計画の概要の説明はありましたが、総合戦略の概要について説明はないのでしょうか。
事務局	委員の皆様が3年任期の3年目ということもあり、本日は割愛いたしました。
会長	改めて説明があってもよいかと思います。例えば、総合計画の政策分野のうち総合戦略では、人口増加や人口減少対策、地方創生に関わる部分を抜き出していると思うのですが、どこの部分が該当するのでしょうか。
事務局	総合戦略では、まち・ひと・しごとの観点から4つの基本目標があり、「若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる」が1つ目。2つ目として、「牛久とのつながりを築き、新しいひとの流れをつくる」。3つ目として、「牛久に魅力ある「しごと」を増やす」。4つ目として、「ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる」となっています。それぞれの基本目標には指標があります。例えば「若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる」では、「婚姻届取扱件数」や「出生者数」、「仕事と家庭生活のバランスが取れていると感じる市民の割合」が指標となっています。具体的な事業を進めていく中では、「ふれあいパーティー参加者のうち、牛久市民の割合」や「出会いサポートセンター登録者のうち牛久市民の結婚人数」、子育てに関しては「保育園待機児童数・国基準」や「放課後児童クラブ待機児童数」、「子育て支援が充実していると感じる子育て世代の割合」などの重要業績評価指標（KPI）を設定してございます。後ほど、業績評価のところで指標に関しては詳しく説明いたします。4つの基本目標ごとの重要業績評価指標に基づいて、今期の総合戦略を振り返っていただきまして、次期計画に向けたご意見をいただきたいと思います。
会長	わかりました。後で、個別の指標の達成状況について詳しく説明いただくということですね。それでは他にご意見等ありましたらお願いします。
委員	資料2の3ページ、基本構想・基本計画というのは総合計画の用語ですね。この会議は総合戦略を考える会議ですが、デジタル田園都市構想総合戦略が基本計画の中に入っています。普通に考えると、その下の総合戦略の矢印の次にまた矢印が出てくる方が整理しやすいと思いますが、あえて基本計画の中を含めた意図はなんなのでしょうか。
事務局	総合計画とデジタル田園都市構想総合戦略を一体的に策定するところを、象徴的に示した形になっています。実際、総合戦略は総合戦略として、それぞれ策定作業を進めるものですが、スケジュールなどは一体的に作成するというので、基本計画の中に入れております。内容としては、基本計画から重点項目を抽出して、総合戦略を作成することを考えております。
委員	逆の考え方があっていいわけですね。総合戦略を議論する中で、非常に重要な指摘があった場合は総合計画の方に反映するということです。今おっしゃった考え方と逆の反映の仕方があっていいということよろしいですか。

事務局	はい。本日の会議でご意見をいただいた場合には、当然次の会議に反映する形で進めて参ります。
会長	ありがとうございます。相互に関連して作成していくとういことでございます。他にご意見ご質問等ありましたらお願いします。
委員	私がサラリーマンをしていたときには、コンサルティング担当の人といろいろ話すことがありました。例えば、考え方として、牛久という企業がどういう状況にあり、どこに課題がある。これを直すためにはこんな方法が必要、というようにもっと具体的に内容を理解したいと思っています。総合戦略の記載できる範囲でまとめていることは分かりますが、これではまちが良くなるという実感できません。要するに、なんか綺麗にまとめたけれど、時間が経てば違うことをするみたいな心配がありますが、いかがなものでしょうか。
会長	この後、具体的な説明があるかと思われます。
事務局	冒頭の基本的な部分の説明が足りておらず大変失礼いたしました。現行の総合戦略の評価や、結果につきましては数値的なものがいくつかございます。この後、基礎的調査の方で説明をさせていただきます。市が施策を行うなかで、数値がどう変化しているのかを管理をしていますので、課題であるとか今後やるべきことは整理できてるかと思えます。この後の説明で触れさせていただきます。
会長	この後で具体的な話になっていきます。ただ今の説明は総合計画と総合戦略の関係を説明いただきました。質問がなければ基礎的調査報告の説明に移りたいと思いますがよろしいでしょうか。それでは事務局の方から資料説明をお願いいたします。

議事（2）基礎的調査報告

発言者	内容
事務局	資料に基づき、基礎的調査報告について説明。また、総合戦略概要版を追加資料として配布・説明。
会長	以上の説明について、ご意見ご質問ありましたらお願いいたします。
委員	私の感覚で言わせていただきます。私の経歴は高校まで牛久市で生活をしており、大学は東京で川崎に住んでいましたが、牛久市に帰り、特急で通勤する生活をしていました。農業関係で感じることは、梨などの果物農家が最近減っていることです。多分、後継者がいないのだと思いますが、農家に対するサポートが必要だと思っています。つまりは、住んでいる人が仕事を続けられるようにサポートしていかないといけません。この調査資料と我々の感覚が合っているという意味では、梨農家も減っているのではないかと感じます。 あとは、工場や大学、働く場所があれば人は戻ってくるはずで。魅力ある職場誘致などのアプローチがあると良いと思います。例えば、半導体などの工場です。近隣のつくば市の人口は増えていると聞いていますが、研究所があることで研究職の方が集まってくるのではないかと考えています。 要するに、ここで生まれた子どもは東京に行って帰ってこないで、帰ってこれるよう

	な環境になったら良いと思います。
会長	ありがとうございます。事務局の方で回答をお願いします。
事務局	ご意見ありがとうございます。まず、農家関係について、ちょうどコロナ禍ということも影響して、農家の方が減少しているかと思われます。なかなか難しい時期だったと感じています。当時、地方創生で地方に人を流すために牛久市では、どのような仕事を軸にしようかという中で、農業に着目して指標を取りまとめたという経緯がございます。結果的には目標値に達しないものが多くあると思いますが、施策自体は実施しております。確かに、お話がありました後継者の問題ですと、梨などの手間がかかる果物に関しては新規で就農することが難しいかと思います。詳細については私の方から改めて農業政策課の方にヒアリングをしてみたいと思います。後継者の問題を抱える農家へのサポートではありませんが、牛久市が出資している、農業法人うしくグリーンファームがございますが、ここでは耕作放棄地を借り受けて、農作物を作り、販売することができます。また、新規就農者の育成も行っており、卒業した方の中で新規就農された方も何人かいらっしゃいました。しかし、農業者が増えているかというとなかなか難しい状況かと思います。 次に、魅力ある職場に関しては、企業誘致などが考えられると思います。牛久市はいわゆるお手本のようなベッドタウンを形成してきました。県で開発していただいた工業団地を東部に構えていますが、現時点で余っている土地はありません。そのような中、今年度から牛久駅、ひたち野うしく駅を中心とした中心市街地に事務系の事業所が立地した場合には、補助金を用意するなど優遇措置をおこなっております。これまで、企業誘致に関する奨励金はあくまでも製造業などが中心であったため、事務系の事業所に対する支援策はありませんでしたが、今年度そこに着手したということが1つ進展したことかと思われます。 最後に、人口増加に関しては、なかなか難しい状況にあるかと思います。おっしゃる通り、つくば市には研究所や大学があり、人の出入りも多いと感じています。牛久市につきましても、いわゆるベッドタウンで昼間の人口が少なく、夜間の人口が多くなるまちです。ただ、そういった中でも何が魅力であるかということを磨いていくことが大事だと思います。住環境が既に整備されていて、JRの駅を2つ持っている、道路のアクセスも非常に良くなったというだけでも、人が来てくれるポテンシャルはもっていると思いますので、何を仕掛けるかが課題だと感じております。以上です。
会長	ありがとうございます。いただいたご意見は、この戦略のコアの部分になるかと思います。今後の会議においても議論する必要があるかと思います。他の方で、UターンIターンなど、働く場所、魅力ある職場といった問題について、ご意見のある方はいらっしゃいますか。
委員	よく会議で出る話題は、「大企業がない」ということです。やはり郊外にも少ない。生活基盤となる仕事を確保することによって、人口減少が防げるのではないかという会話はよく耳にします。 資料3-3の24ページの「認定農業者における女性農業者数」について、実績値が8人で目標値が10人なのですが、評価がAになっているのはなぜなのでしょう。それと

	もう一つ、「ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる」では安心安全を謳っていますが、どこを見ても防災への取り組みについて記載がありません。「安心安全」に全て含まれているということなのか、牛久市は災害の少ないまちだからあえて入れてないのか、疑問に感じました。
会長	ありがとうございます。事務局の方で回答をお願いします。
事務局	まず、最初の女性農業者数についてですが、まず令和6年度における目標値が10人となっています。各年では、令和3年の目標値が8人で実績値が9人、令和4年の目標値も8人で実績値が9人、令和5年では目標値は8人であり実績値が8人ということでA評価が3つ並んでおります。
会長	他にご意見いかがでしょうか。
委員	確認ですが資料3-3、24ページのところで、「各種事業実施によって創出された就業者数」の令和5年度の実績値が119人となっていますが、この就業者数はどのように把握しているのでしょうか。教えていただきたいです。
事務局	中小企業退職金共済制度を使っている就業者の数の把握を商工会が行っています。
委員	「創業希望者・企業誘致に関する相談件数」のところで、令和5年度の実績値が79件となっていますが、具体的に企業からの問い合わせはどのような内容であったのか教えていただきたいです。 また、人口に関して、先日の茨城新聞で県の人口推移の記事が載っており、つくば市が当然増加していることに加えて、阿見町が増加しているという内容でした。牛久市のすぐ隣でなぜ増えているのか、理由を把握していれば教えてもらいたいです。阿見町には圏央道ICの近くに、物流倉庫などが新しく進出している影響があるかと思います。圏央道の関係で言えば、坂東市や常総市、古河市といった県西がすごい盛り上がっていて、企業が進出しています。一方で、牛久、阿見から東の方面ではあまり企業立地の話を聞きません。以上になります。
事務局	まずは、「各種事業実施によって創出された就業者数」ですが、先ほどの就業者数に加えて、認定農業者として新規に就農した人の数も合わせて就業者数としています。 また、阿見町の人口増加については、企業立地の影響もあるかと思いますが、本郷地区及びアウトレット周辺の区画整理に伴う住宅地整備による人口増の割合が大きいと伺っております。この件に関しては阿見町役場に聞き取りをした際にお伺いいたしました。
会長	まだまだご意見があるかもしれませんが、最後の項目「牛久市人口ビジョンの検証」に進みたいと思います。その後、まとめてご意見の方を頂戴したいと思います。

議事(3)牛久市人口ビジョンの検証

発言者	内容
事務局	資料に基づき、牛久市人口ビジョンの検証について説明。
会長	先週総合計画の審議会を開催し、委員から資料4の17ページの表についてご指摘とご意見をいただきました。上段の男性の表は全国的にもよく見られる傾向であり、大学進学のための上京により減少し、また戻ってくる傾向がみられます。一方で女性は、大学進学

	で上京してから、戻りがない傾向になっています。この傾向は、牛久だけの特徴であるのかどうか、もしそうであるなら、何が原因となっているのかを探って、策を検討する必要があるのではないかといったご指摘をいただきました。 その後、事務局において、近隣市町村を調べたところ、隣の龍ケ崎市は大学があるので、18歳が増加するといった逆の傾向となっておりました。他の常総市や小美玉市は男性と似たような傾向でしたが、稲敷市と当市は同じ傾向となっておりました。それが地域性なのかという点については、再度調べる必要があるかと思いますが、地域によって女性の戻りの部分については差が出ています。若干、住宅事情等が関係している可能性もありますが、事務局で引き続き分析させていただきたいと思います。先生への返しの途中経過の部分も含めてご報告させていただきました。 以上の説明について、ご意見ご質問ありましたらお願いいたします。
委員	子どもが2人とも東京の学校に通い、東京で就職しています。結婚して、東京で宅地を求める人は近所でも多いと感じます。もし、戻ってきたとしても、仕事がないという状況のようです。帰ってこられる職場環境が求められるのかなと思います。
委員	戻る戻らないのことはよくわからないのですが、圏央道の阿見東IC、牛久阿見ICあたりについて、久野側に接している阿見東ICではアマゾンがあったり、工業地帯があたり、住宅販売も行っていて、退職した人が暮らせる環境づくりを阿見町はうまくやっていると感じます。現在、県道の2車線道路拡幅の工事をしていますが、この道路ができることによって牛久市にも大きな施設を誘致できる可能性があるのではないかと思います。また、おくの義務教育学校付近や、鎌倉街道の沿道も洪水にならないような地域ですので、ごみ処理施設ではなく有効に利用させていただきたいと思います。キーワードは2車線と、高台になっている奥野地域です。メガソーラーなどがありますがもったいない感じがします。ぜひ未開発地域を上手に活用していただいて、みんなハッピーになるよう、よろしくお願いします。
会長	ありがとうございます。ご意見として承らせていただきます。
委員	総合戦略はやはり人口がターゲットなので、人口を増やすということが目標になります。人口増加にも2種類あり、ずっと議論されている社会増と、自然増があります。これは、ここで子どもを産んでもいい、子どもを育ててもいいという家庭を増やすということになります。そのような観点から、牛久市の教育あるいは福祉などが足りているかどうかという反省が必要になってくるかと思います。間接的にはまちづくりについても、本当に乳母車の人や妊婦さんに優しいまちになっているかというような視点で、バリアフリーを考えることも大事だと思います。今日ご発表いただいた報告はあくまで結果の報告であり、原因の考察がされていません。「特殊出生率が極端に減りました、低くなりました」とありましたが、このような原因はこれから探っていただきたいと思います。 もう1つは先ほどご説明があったように、他の市町村との比較が大事になると思います。よく関東鉄道のバスにラッピングで、「境町は子育てを支援しています。」というような宣伝が書いてありますが、牛久市でも同じことやってもいいわけです。境町でやっているから牛久市では遠慮しときますではなく、いろんなところでやっていることを真似し

	ていいと思います。そういう調査もこれからは必要なので、アイデアをどう取り込んでいくか考えていきたいと思っています。 もう1つはK P Iに関して、委員の皆さんも2、3年議論していて不思議だと感じているかと思いますが、人口が減っている状況でこれらのK P Iを達成すれば人口が増えるのかと疑問に感じています。指標と実際の社会との乖離があまりにも大きすぎて、できる指標だけが書いてあるように思えてしまいます。本当に人口増加に繋がる指標を立てるべきであり、10個と少なくてもいいかもしれません。それがうまくいって子どもが増えるのであれば指標が少なくても問題ないかと思っています。名前もデジタル田園都市国家構想になるわけですから、思い切って過去の総合戦略にとらわれず、新しい計画を作っていただきたいと思っています。
会長	これから先まだ議論は重ねるかと思いますが、現段階で事務局からコメントをお願いします。
事務局	委員から頂いたご意見の東部地区について、改めて検討すべきところはたくさんあるかと思っています。道路ができれば、土地の利用が進むというのは世の常でございます。現時点で牛久市では道路整備に合わせて何かまちづくりをしようという事はございません。先ほど企業誘致の話がありましたが、確かに今のところ新たに工業団地が増えるということもありません。ですが、少なからず牛久市としても企業誘致に関しては動いているところであり、情報収集や、茨城県との協議は継続して行っています。結果的に今のところまだ計画はできておりませんが、総合戦略で示している通り、人を呼ぶためには職と住が近接しているということが有利な点になるかと考えています。 また、委員のからのK P Iのご指摘について、やはり結果だけでなく、原因分析することで次に繋がるかと思っていますので、次回会議までに整理させていただきまして、次期素案を作るにあたってお示ししたいと思っています。以上でございます。
会長	ありがとうございます。他にご意見ございますか。 私の方で簡単にまとめさせていただきます。まず、魅力的な職場が非常に大事であり、市外に出た人が戻ってこられるような環境を作るべきというご意見をいただきました。それから、社会増だけでなく自然増という視点で、教育・福祉も含めたまちづくりそのものを見直す必要があるだろうという事でした。そのためには、他市町村の政策のいいところをどんどん取り入れていくことも必要という事や、K P I自体が人口増に繋がる指標になるよう検討すべき、というご意見をいただきました。 これらのご意見を踏まえまして、事務局の方で持ち帰らせていただき、次回は素案を示させていただきます。次回においても皆様からご意見を頂戴いたしまして、取りまとめを進めていきたいと思っています。 議事の方は以上でございます。貴重なご意見をいただきましてありがとうございます。進行を事務局に戻します。

以上